

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



シンガポールのテマセクポリテクニク校との国際交流



地元企業と連携して行う「金商デパート」



学校正門



金融広報アドバイザーによる授業の様子



石川県立金沢商業高等学校

本校は、明治33年に創立された歴史と伝統を誇る商業高校です。現在では、「総合情報ビジネス科」のもとに、①四年制大学への進学指導を充実させた「カレッジコース」、②商業科の伝統を受け継ぐ「ビジネスコース」、③観光など時代に即した「観光サービスクース」の3コースを用意した単科学校として発展を続けています。

理までのすべてを行うので、商業人としての総合力を身に付ける貴重な機会となっています。さらに、平成28年に本校が設立した株式会社「王座金商」でも、生徒がオリジナル商品の開発・販売に加え、旅行代理業を行っています。こうしたリアルな実践経験は責任も重く、起業家精神の育成につながるものと思っています。

商業高校のため、簿記や原価計算といった会計系の科目をはじめ、ビジネス経済などの経済科目や情報処理などの情報系の科目など、さまざまな科目のなかで、金融について学ぶことができます。3年次には、学校独自の科目として、ライフプランニングを中心とした「金融」の授業を行っています。

平成30年度には、石川県金融広報委員会から2年間、金融教育研究校の委嘱を受けました。金融広報アドバイザーによる授業（金融資産の運用、「ライフデザインと資産形成」など）を受講する機会が増えたこともあり、従来のFP検定3級に加え、2級合格者を輩出するなど、生徒の学びに広がりが出てきています。こうしたなか、シンガポールのテマセクポリテクニク校とも交流しており、海外で「金融」を学ぶ生徒と切磋琢磨して国際感覚を養うことも今後の目標の一つです。

また、毎年10月に開催する「金商デパート」は、一大イベントとして定着しており、地元企業と連携した金融教育の実践の場となっています。生徒は、実際に物品販売から会計処